

発行 日本音楽療法学会

理事長 日野原重明 副理事長 村井 靖児

事務局 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-20-8 浜松町一丁目ビル 6階 TEL 03(5777)6220 FAX 03(5401)0337

理事長・副理事長 ご挨拶

日野原 重明 理事長



1995年に全日本音楽療法連盟が成立し、次いで2001年に日本音楽療法学会が発足して早6年が経過しました。そしてまた、学会認定による音楽療法士の資格制度が1996年に発足してもう10年が経過し、その間に1307名の学会認定音楽療法士が生まれました。いろいろの歴史のある音楽療法の団体が合併して、今日ある状態になるまでには幾多の問題があり、その教育のレベルや方法についてもいろいろの議論がありました。

そのような中で、このたび104名の評議員の選挙で20名の理事が選ばれ、私は理事長の再任を受けました。

音楽療法士の国家認定を目指して、払われて来た長年の努力が、会員や役員のご努力と一致により、ようやくその実現への最後の努力を払うべき時期が迫ってきました。

大きな目標を会員が目指して、できるだけ早く音楽療法の議員立法の法案が国会に提出されるよう、互いに寛容な心で、その道への準備行動に向かいたいと思います。

会員や役員の皆さまのお支えを受けて、さらに次の一期の理事長職の務めを果たすべく努力したいと思っています。何卒よろしくお願いたします。

村井 靖児 副理事長



このたび選挙で副理事長に選出されました村井靖児です。松井紀和先生の後を引き継ぎ、日本音楽療法学会の舵取りという大役を担うことになりました。皆様のご期待に沿うべく、自分の力の限りを尽くして、誠意をもって学会に参画してまいりたいと思います。どうぞよろしくお願申し上げます。

副理事長という職は、もとより理事長を助け、理事と共に学会の運営の中心に立つことを意味しますが、この学会の今後のあり方をどのように考えているのか、就任に当たり2、3の点について所信を述べ、皆様のご理解を得たいと存じます。

第1は、学会創設以来ずっと主張を続けてまいりました、音楽療法士の国家資格化に向けての決意であります。わが国のように国民皆保険の制度の下では、医療、介護とも、国家資格を持つことがその職業に就く重要な条件であることは皆様よくご承知のところですが、多くの会員の方が、学会認定の資格を持ちながら、その依ってたつ保険点数の裏づけがないために、正規の雇用形態を得られず、不本意ながら作業療法士の補助職とか、あるいはボランティアとして働いている現実があります。これが長年夢に抱いていた音楽療法士の現実の姿だとすれば、それは本当に嘆かわしいことでもあります。

過去、理事長の日野原重明先生はじめ多くの役員が国家資格化の推進をずっと主張して参りました。しかしここ数年間、学会が国家資格化の問題に関して、大きな論争の場となった

ことはご承知のとおりであります。一時は理事会も国家資格化を断念せざるを得ない瀬戸際まで追い詰められたこともありましたが、その時も国家資格化をあきらめることは、音楽療法士を今後末長く不安定な任意団体資格に甘んじさせることになるという信念から、土壇場で防いで参りました。

今回の選挙はその意味で、国家資格化の是非を問うた選挙であったと言っても過言ではありません。新しい理事会が、今後国家資格化の実現に向けて動き出すことは、会員の皆様のそういう後押しがあつてのことです。どうぞこの3年間を、国家資格化へ向けての大事な目的達成の年とするように、皆様の絶大なご協力をお願い致します。

第2は、いま学会で何が話され、何が実行されつつあるのかを、できるだけ詳細に会員の皆様にお知らせして、透明な学会運営をするということを申し述べたいと思います。そのために、学会ニュースはもとより、学会のホームページを十分に活用して、情報を皆様にお届けすることを心がけたいと考えています。

第3は、学会が今まで背負ってきたさまざまな機能を少しずつ分割することについて、改めて研究していきたいということあります。学会が、研究のほかに認定業務や養成の仕事まで担うには、少し無理があると認識しております。発足当初はやむを得ないことだったと考えますが、そろそろそのことについて真剣に考える時期だと考えています。

他にもさまざまな問題が山積していますが、それら諸課題について皆様方にホームページなどで前もってお伝えしながら、会員の皆様によく分かる学会運営を心がけていく所存でございます。今後ともどうぞよろしくご支援を頂きますよう、重ねてお願申し上げます。

第7回日本音楽療法学会学術大会（札幌）へのいざない

大会長 久村 正也

北国にもようやく春めいたそよ風が舞い、行きかう人びとの装いも軽やかになりました。

全国の会員の皆様には、お元気でご活躍のことと、お慶び申し上げます。

さて、第7回学術大会（札幌大会）が5ヶ月後に迫りました。すでに、第1次案内、第2次案内で札幌大会の大まかな内容はお目通しいただいており、また4月にお届けした第3次（最終）案内で詳細をご理解いただけたものと思いますが、貴重な紙面をお借りして、札幌大会の、聞きどころ、見どころ、お勧めどころを紹介させていただきます。

札幌大会のメインテーマは、「音楽療法の学際性と全人生一ひとと音楽との対話—」とさせていただきます。

音楽療法は治療学の立場からは心理療法、精神療法の一つと考えられますが、多くの治療法がそうであるように、音楽療法も“音楽”という治療薬のみで病む人びとのすべてが癒されるものではありません。そこには、音楽を中心としつつも、医学、看護学、福祉学、社会学、行動科学、倫理学、教育学、経済学、法学などさまざまな領域との連携が求められます。つまり、学際的な協力があって初めて音楽療法の底知れぬ癒しの力が発揮されるものでしょう。

学際的に治療することは、換言すれば、全人的医療ということになります。ひとは身体で病み、心で病み、生活で病み、環境で病み、そして倫理の問題で病みます。

ひとを癒すとは、これらすべての視点から丸ごと病者を温かく見守ることでしょう。メインテーマにこめられた私ども北海道支部会員の熱い思いを汲んでいただければ誠に幸いです。

治療学はサイエンスに基礎を置くアートであると考えられますが、音楽療法はサイエンスの基本であるエビデンスに些か疎いという指摘をよく耳にします。将来的には音楽療法はエビデンスとナラティブの融合治療学に育ってゆくことが期待されますが、当面の課題として、エビデンスに基づいた音楽療法の展開が求められております。

このような背景のもとに、基調講演にはバーバラ・ウィラー教授とキャロライン・ケニー教授のお二人をお招きし、音楽療法の科学研究、理論的研究法をめぐるご講演をいただきます。両教授のお話は、かならずや、皆様の今後の音楽療法活動、音楽療法研究の糧になることと思います。

特別講演は日本心身医学会理事長、中井吉英教授に各種治療技法の根源的なテーマである治療的自我を、音楽療法との関連性においてお話しいただく予定です。皆様の今後の音楽

療法活動のバックボーンとして実践いただければ幸いです。

教育講演は緩和ケア医療の専門医である石谷邦彦博士に、緩和ケア領域における音楽療法の今後の発展性・可能性などについて、ご自身の経験を通してお話しいただきます。死の臨床とも絡む内容で、今日的な示唆が得られるものと期待されます。

大会長講演は、心理・精神療法の一つとしての音楽療法の有効性と課題点を、身体的、心理的、社会的、生態的、倫理的など多方面の視点から、私見をも踏まえて検討・整理させていただきます。予定です。

学術大会初日の講習会は16講座を用意いたしました。札幌大会にふさわしく、また、大会テーマに沿う形で、北海道にゆかりのある講師陣を主軸に構成させていただきましたが、同時に海外招聘講師の多彩な顔ぶれにも、受講者の皆様に満足いただけるものと確信しております。また、初めての試みとして、ナイトレクチャーを企画いたしました。コースとは無関係にどなたでも参加できます。

大会を盛り上げてくださる会員からの演題募集は4月12日から始めます。研究発表・プロジェクト報告に加えて、今大会では自主シンポ企画セッションも設けてあります。お一人でも多くの皆様の演題応募を心からお願いし、お待ち申し上げます。

会期中の昼休みを利用してのミニコンサートも鋭意準備中で、どんなコンサートなのか、ご期待いただきたいと思います。

会員の交流を深め、親睦を図り、情報を交換する恒例の交流会は8日夜、同じコンベンションセンター内で開催いたします。北海道ならではの秋の味覚をご堪能いただきながら、ヨサコイソーランなどで蝦夷地の風土をお楽しみください。

9月は札幌のベストシーズン。空は高く澄みわたり、初秋のそよ風は肌に心地よく、その中を、私ども北海道支部会員をはじめ、雄大な大倉山シャンツェ、羊が丘展望台にたつクラーク博士、イサム・ノグチ氏設計のモエレ沼公園、札幌農学校時計台、ジンギスカン鍋、札幌ラーメンなど札幌の役者が勢ぞろいして皆様を歓迎いたします。

最後になりましたが、札幌大会は支部会員、学術大会委員、本部事務局、多くの団体、企業の方々のご支援、ご協力のもとに準備が進められております。紙面をお借りして衷心より感謝申し上げる次第です。

（開催 2007年9月7日～9月9日）

■ 日本音楽療法学会プロジェクト研究について ■

学術・研究委員会

日本音楽療法学会では、2002年度より音楽療法に関わる学術研究を振興するためプロジェクト研究の公募・助成を行っています。つきましては、審査基準および申請にさいしての注意事項についてお知らせします。

1) 審査基準

プロジェクト研究は、音楽療法について優れた研究を蓄積し社会的認知を得ることを目的としています。したがって、質の高い研究であるかどうかを審査し適当と考えられた研究に助成金を出し、その成果を公表していただくことになっています。

審査基準は、研究題名、研究の意義、内容、対象と方法、準備状況、倫理面への配慮、研究歴・業績、研究経費の8項目について3段階評価、そして総合判断として5段階評価を行います。10人の委員の総合判断の平均値で3点(普通)以上の研究を審査の対象として、上記8項目について検討し採択あるいは条件つき採択を決めるという手順をとっています。不採択になった申請者には、評価点(平均値)と審査員からのコメントをつけてご連絡しています。ちなみに2006年度は申請8件中、採択1件、条件つき採択1件でした。

2) 申請にあたっての注意点

- ① 同じ研究者が複数年応募されることがあり、委員会にて2年連続して採択される場合は助成金を半額とし、3年連続は採択しないことにしました。これは、なるべく多くの方に助成したいとの考えに基づくものです。
- ② 申請者および研究協力者全員が学会員であることが必要ですので、研究協力者の方も入会されるようお願いします。
- ③ 成果発表として、本学会においての研究報告および本学会誌にての論文発表が義務付けられています。論文は、編集委員会による論文審査を経てから掲載されますので、良い原著論文を書いていただくようお願いします。

2007年度も昨年同様の要領でプロジェクト研究が公募されます。上記の点を参考にして、良い研究計画を立て、多数の方に応募していただくようお願いします。



■ 2007年度日本音楽療法学会プロジェクト研究の募集 ■

学術・研究委員会

日本音楽療法学会では、2002年度より音楽療法に関わる学術研究を振興するためプロジェクト研究を行っております。2007年度も引き続き下記の要領で研究募集を行います。

つきましては、これまでの障害、疾病、予防医学などの領域のみならず、音楽学、社会学、文化人類学、哲学、美学など文化研究領域における研究についても積極的に公募し、採択された研究には助成金を交付します。

1) 応募〆切：2007年7月31日

2) 研究領域

- ① 量的研究など実証的研究領域
- ② 質的研究及び哲学・美学・社会学等の文化的研究領域
- ③ その他

3) 応募方法

所定の研究計画書を事務局に申請し、必要事項を記入のうえ提出してください。

なお、助成金は一研究につき上限100万円とし、会計報告を必要とします。

4) 審査方法

学術・研究委員会にて審査し、理事会で採択を決定します。

5) 研究報告

採択された研究は、2009年度大会で最終報告をしていただきます。(中間報告は行いません)

さらに、2009年度中に本学会誌へ原著論文として、投稿することが義務付けられます。

6) 留意事項

- ① 研究遂行にあたっては、科学的実証性を重視し、かつ本学会の倫理綱領を遵守してください。
- ② 申請者および研究協力者の全員が正会員であることが必要です。
- ③ 同一の申請者が同時に2件申請することはできません。
- ④ 多くの研究者に助成したいので、同一の研究者が2年連続して採択される場合は助成金を半額とし、3年連続は採択されません。
- ⑤ 研究計画書にコピー3部を添えて提出してください。

<申請・応募先>

* 研究計画書様式は、A4サイズの返信用封筒に宛て先を記入して200円切手を貼り、日本音楽療法学会事務局へ請求してください。

■ 日本音楽療法学会 音楽療法士（補）試験実施要項（抜粋） ■

わが国においては1997年に全日本音楽療法連盟の資格認定制度が開始されました。当時、音楽療法士養成課程を有する学校はきわめて少数であり、当然ながら試験制度は採択されませんでした。代わりに、現在にいたるまで臨床の経験を重視した暫定的な処置による音楽療法士認定がなされてきた経緯があります。

しかし同連盟は暫定的な認定制度と並行して1996年に大学や専門学校での教育へのガイドラインとして音楽療法士養成カリキュラム96を制定しています（現在は改訂されたカリキュラム01が制定されています）。その後、幾つかの大学、専門学校などにおいてこのガイドラインを基本にした音楽療法士養成コースが設置され、近年になりそれらのコースの卒業生が誕生するようになりました。

これらの卒業生は学会が定めたカリキュラムに基づいて教育訓練を受けた者であり、これらの教育を受けていない者と

は異なる基準で資格認定が行われなくてはならないはずで

す。以上の経緯により、学会により教育カリキュラムの審査を受け承認された大学や専門学校の音楽療法コースの卒業生を対象に音楽療法士（補）認定試験が2001年度より実施されることとなりました。

この試験は各受験者の音楽療法に関する全般的な知識を指定カリキュラムに基づき広い範囲にわたり尋ねるもので、受験生の基本的な知識と能力、また音楽療法士としての適正を確かめる目的で行なわれます。

この試験に合格した者は日本音楽療法学会認定音楽療法士（補）の資格を得ることができます。この資格は、本人の音楽療法活動の臨床経験が3年をこえる時点で改めて学会に申請すれば（臨床事例報告審査と面接を経て）正式に音楽療法士として認定されます。

1. 試験の日時および会場：《2007年度は→2008年1月13日、日本教育会館》
2. 試験科目：音楽療法科目を中心に、カリキュラムガイドライン01に含まれる教科全般。
3. 受験資格：本学会から教育カリキュラムの審査を受け承認された大学ならびに専門学校等の音楽療法コースの卒業生および見込生。
4. 受験手続：
 - (ア) 学会事務局への受験申請を行う。なお記入に際しては戸籍に記載されている氏名を使用する。
 - (イ) 事前に受験手数料1万円を日本音楽療法学会に振り込む。
 - (ウ) 申請には以下を同封して、日本音楽療法学会へ送付する。
 - ① 受験申請書（該当の教育機関に学会より送付します）。
 - ② 単位取得証明書 なお、専門学校にあっては高等学校卒業後における各種教育機関における単位取得証明書を添付しなければならない。
 - ③ 既卒者は卒業証明書（卒業見込みの者は下記9を参照）。
 - ④ 受験票送付用の 返信用封筒（長形3号サイズ、自分の宛先を記入して、80円切手を貼付する）。
 - ⑤ 受験手数料振込控 のコピー。
 - (エ) 受験時には受験票と本人の写真の付いた証明書（学生証、運転免許証など）を持参する。
5. 試験はマークシートを用いて多岐選択形式で合計150問（試験時間は合計2時間30分）。
受験票、筆記用具（HB鉛筆数本と消しゴム）および時計のみ会場の卓上に置くことができる。
6. その他、試験時に特別な援助などの必要がある場合は事前に事務局に申し出てください。また当日欠席などによる返金はいたしません。
7. 受験申込期間 《2007年11月19日（月）～12月3日（月）までに学会事務局へ必着》
8. 合格者の発表 《2008年2月初旬（審査結果は受験者本人に文書にて通知）》
9. 合格者のうち、卒業見込みの者は卒業後、卒業証明書を当学会事務局へ送付してください。（既卒者は不要）。送付してきた者について当学会音楽療法士（補）の資格証明書を発行します。（既卒者には合格発表と同時に発行します）。この証明書は、正規の当学会音楽療法士の資格認定申請時に必要となります。

■ 支部情報（大会・講習会、総会などのお知らせ） ■

§ 北海道支部（支部長 久村 正也 事務局長 安藤 妙子）

【事務局】〒064-0916 北海道札幌市中央区南16条西7丁目1-7-406 札幌心身医療研究所内
TEL & FAX 011-520-2605

2007年度支部総会ならびに第11回研修会

開催日時：2007年5月20日（日）10：00～16：00

開催場所：北海道札幌市中央区北3条西4丁目1 日本生命札幌ビル5F
北海道医療大学サテライトキャンパス講堂

問合せ先：上記事務局

§ 東北支部（支部長 遠藤 安彦 事務局長 智田 邦徳）

【事務局】〒020-0063 岩手県盛岡市材木町2-20 近文商店2階
FAX 019-651-7838 緊急 090-6252-5282

支部大会・総会

開催日時：2007年6月23日（土）・24日（日）

開催場所：青森県八戸市

大会テーマ：「地域社会と音楽療法」

基調講演 講師；松井紀和氏

問合せ先：上記事務局

講習会

開催日時：2007年11月～12月に予定

問合せ先：上記事務局

※詳細は後日お知らせします。

2008・9年度役員選挙……2007年6月

§ 関東支部（支部長 村井 靖児 事務局長 穴戸 幽香里）

【事務局】〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 聖徳大学 郡司研究室内
FAX 047-365-1145

支部役員選挙日程

2007年9月末 投票用紙を配布

10月30日 投票締め切り

11月11日 開票・集計

支部地方大会・講習会

開催日時：2007年11月24日（土）・25日（日）

開催場所：山梨学院大学（山梨県）

問合せ先：上記事務局

§ 信越・北陸支部（支部長 北本 福美 事務局長 小林 和子）

【事務局】〒950-2003 新潟県新潟市東青山1-11-17
TEL & FAX 025-231-9283 E-mail cobaman@nifty.com

第5回支部学術大会

大会テーマ：「音楽療法とはなにか？～信頼される音楽療法士をめざして～」

開催日時：2007年6月2日（土）・3日（日）

6月2日のみ一般公開 参加費1,000円

13：00～18：00

3日 学会会員のみ 参加費5,000円（2日間）

9：30～15：30

開催場所：新潟東急イン TEL 025-243-0109
問合せ先：TEL/FAX 025-231-9283 E-mail mtsinnetu@yahoo.co.jp

§ 東海支部（支部長 吉田 豊 事務局長 栗林 文雄）

【事務局】〒453-8540 愛知県名古屋市中村区稲葉地町7-1 名古屋音楽大学内 栗林研究室
TEL 052-411-1115（代） FAX 052-413-2300（代）

第6回支部大会・総会（開催済み）

開催日時：2007年3月17日（日）

※次の大会の開催情報は学会ニュース14号に掲載します。

§ 近畿支部（支部長 大前 哲彦 事務局長 山田 由紀子）

【事務局】〒561-8555 大阪府豊中市庄内幸町1-1-8 大阪音楽大学内
TEL & FAX 072-763-0305 E-mail jmtak@guitar.ocn.ne.jp

2007年度支部大会・講習会・総会

開催日時：未定

開催場所：未定

問合せ先：上記事務局

※役員改選により2007年4月から支部の電話・FAX番号が上記番号へ変わりました。

§ 中国支部（支部長 武田 千代美 事務局長 木村 敦子）

【事務局】〒731-0295 広島県広島市安佐北区可部東1-2-1 広島文教女子大学 木村敦子研究室内
TEL & FAX 082-814-3161 E-mail jmta-cc@h-bunkyo.ac.jp

第7回支部大会・総会 第10回講習会

開催日時：2007年5月26日（土）、27日（日）

開催場所：米子コンベンションセンター BiG SHiP

問合せ先：上記事務局

§ 四国支部（支部長 板東 浩 事務局長 三崎 めぐみ）

【事務局】〒762-0082 香川県丸亀市飯山町川原1847-4
TEL & FAX 0877-98-7696

第4回支部大会

開催日時：2007年度後半に予定

開催場所：徳島市（予定）

問合せ先：上記事務局

※大会の詳細は、10月中旬までに四国支部会員にお知らせ致します。

§ 九州・沖縄支部（支部長 齊藤 雅 事務局長 西林 淑子）

【事務局】〒807-0846 福岡県北九州市八幡西区里中3-12-12 八幡厚生病院内
TEL 093-691-3344 FAX 093-603-7213

2007年度講習会

開催日時：2007年6月9・10日（土・日）

開催場所：大分県医師会館（大分市）

問合せ先：上記事務局

2007年度支部大会

開催日時：2008年、2月または3月（期日未定）

開催場所：アクロス福岡（福岡市） 予定

問合せ先：上記事務局

学会事務局からのお知らせ

■ 第8回日本音楽療法学会学術大会開催決定のお知らせ

- 日 時：2008年8月29日（金）・30日（土）・31日（日）
- 会 場：昭和音楽大学（神奈川県川崎市）
- 大会長：村井靖児（日本音楽療法学会副理事長）、実行委員長：久保田牧子（昭和音楽大学）、事務局長：羽石英里（昭和音楽大学）
- 大会テーマ：未定
- *大会案内は順次お知らせします。

■ 2007年度研修・講習会開催のお知らせ

- 日 時：2008年3月1日（土）・2日（日）
- 会 場：日本教育会館一ツ橋ホール（東京都千代田区）
- *詳細は次号でお知らせします。

■ 2007年度資格審査、資格更新審査のお知らせ

資格審査

- 第12回の資格審査のための申請受付期間は、2007年10月1日～10月15日です。
 - *15日（月）必着
- 必ず日本音楽療法学会版の申請書（認定規則）を取り寄せて申請してください。
 - *申請書（認定規則）の取り寄せ方法
240円切手を貼った返信用封筒（A4サイズ、必ず宛先を書いてください）と500円の定額為替を同封して、事務局へお申し込みください。（会員のみが配布対象です）
 - *書類審査結果は11月下旬に通知します。なお、書類審査合格者には面接試験（実技を含む、12月15日（土）・12月16日（日）のいずれか1日、会場は東京）の案内が同封されます。

資格更新審査

- 今回は第2回および第7回認定者が対象となります。
- 第7回の資格更新審査のための申請受付期間は、2007年10月16日～10月31日です。
 - *31日（水）必着
- 対象となっておられる方は事務局よりお送りする申請書類（資格更新規則／同細則の日本音楽療法学会版）にて申請してください。また、申請書（資格更新規則／同細則）を紛失された方は上記、認定規則と同じ方法でお取り寄せください。
- 猶予を申請される方も上記の受付期間に申請してください。

いずれの最終審査結果も2008年2月初旬に通知されます。

また、証明書類は現物とコピーの提出となりましたのでご注意ください。現物は返却しますので、必要な切手を貼り宛先を書いた封筒（A4サイズ）を同送してください。切手の額については重量によって異なりますので郵便局にてご確認ください。なお、配達記録にて返却しますので通常料金に210円加算して切手を貼付してください。

なお、各規則の内容に関するご質問は、事務局では判断しかねますのでご遠慮ください。

■ 訃報

昨年6月13日、顧問 岩城宏之先生がご病気のため逝去されました。ご功績を称え、謹んでご冥福をお祈りいたします。

■ 会費（年会費）納入のお願い

2007年度新年度が始まりました。年会費は別便にてお送りしました専用の振替用紙にて早めにお納めいただきますようお願いいたします。

正会員 10,000円 学生会員 6,000円
購読会員 6,000円 賛助会員 50,000円／1口
振込先 郵便振替口座 ○加入者名：日本音楽療法学会
○口座番号：00120-9-657711

■ カリキュラムガイドライン01の取り寄せについて

120円切手を貼った返信用封筒（B5サイズ、必ず宛先を書いてください）を同封して、事務局へお申し込みください。

■ 第6回認定音楽療法士（補）認定試験問題解説集が発行されます（近日発行予定）

2001年に発表された「カリキュラムガイドライン01」適用の音楽療法コース卒業生を対象に、2007年1月14日、第6回の認定試験が実施されましたが、この度、この試験問題の解答と解説集が発行されます。昨年度（2007年1月14日）の受験者の方には事務局からお送りしますが、それ以外の方で入手希望の方は以下に沿ってお申し込みください。また、2001年度から2005年度まで過去5回おこなわれました音楽療法士（補）認定試験の問題解説集もそれぞれ発行されています。

1冊1,000円ですので、購入を希望される方は希望の試験問題解説集の年度と冊数を明記の上で、送料分の切手を貼付した返信用封筒（A4サイズ、宛先明記）と冊数分の合計金額の定額為替（郵便局にて購入、1,000円×冊数）を同封して、学会事務局へお申し込みください。なお送料は1冊200円、2冊240円、3～5冊390円、6冊580円です。

■ 「抄録の書き方」のご購入について

研修・講習委員会編纂による「抄録の書き方（わかりやすい学会発表をするために）」が発行されています。（B5版76ページ、2006年8月23日発行）購入を希望される方は240円切手を貼付した返信用封筒（B5サイズ、宛先明記）と1,000円の定額為替（郵便局にて購入）を同封して、学会事務局へお申し込みください。

■ 学会誌バックナンバーのご購入について

日本音楽療法学会、日本バイオミュージック学会および臨床音楽療法協会の学会誌のバックナンバー購入につきましては学会事務局では取り扱っておりませんので下記へお問い合わせください。

〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-21 アカデミア・ミュージック株式会社
TEL：03-3813-6751 FAX：03-3818-4634

■ 事務局への各種お届けについて

現在学生会員の方で教育機関を卒業された方は、正会員への会員区分の変更が必要です。事務局まで区分変更の届出をお願いします。正会員から学生会員へ変更を希望される場合も事務局へ届けてください。（学生証のコピー添付）

また、市町村の合併により住所に変更があった会員の方も、事務局まで住所変更を届けてください。

■ 音楽療法士求人情報提供のお願い

音楽療法士の求人情報を学会ホームページに掲載することになりました。有償のものに限定しますが、常勤・非常勤は問いませんので、求人情報を事務局へお寄せください。

これは情報を提供するだけのもので、就職の斡旋をするものではありません。

■ お詫びと訂正

学会ニュース11号（2006年4月30日発行）の11ページ、暫定期間終了のお知らせ記事において間違いがありました。お詫びして訂正します。

左段15行目 誤 2000年（平成12年）→ 正 2001年（平成13年）